

# 企業紹介

和風建築の粋を凝らした風格ある家を  
納得のいく価格で提供

 株式会社 早建

代表取締役 早川 信治  
〒950-3338 新潟市北区長場3195  
TEL025-386-5332 FAX 025-386-2853  
<http://www.kk-hayaken.co.jp>

業 種：建設  
資 本 金：1,000万円  
取扱品目：一般住宅・共同住宅・寺院の建築、増改築

冬には白鳥が数多く飛来する瓢湖のほど近く、新潟市北区長場（旧豊栄市）に本格和風住宅の(株)早建の本社工場がある。本社に隣接する3階建て150坪の常設展示場では、心を込めた「匠の技」、悠然とした「くつろぎの空間」、そして本物志向の「家づくりの真髄」を体感でき、県内のみならず、県外からの来場者も多い。坪単価50万円前後からと納得のいく価格で本格和風住宅を提供する。

## 本格和風と現代的な洋風が調和する風格ある住まい

1972年、社長の早川信治氏は新潟市内の名匠の元で5年の経験を得て早川建築を創業。しばらくは、下請工事がほとんどであったが、信頼と実績を重ね、元請けを請け負うようになる。その後、本格和風住宅の(株)早建として業績を順調に拡大した。

しかし、一つの転機が訪れる。重厚な和風づくりは親世代の趣向には合うものの、若手の世帯には賛同されないケースが出てきた。時代の変化を感じた早川社長は、若い世代の趣向にも合う家づくりが必要と痛感。新たにデザイン性溢れる洋風様式を取り入れ、従来からの和風と調和した二世帯住宅にも力を入れる契機となった。現在、同社全体の施工のうち、二世帯・三世帯住宅の占める割合は高く、「これからも家族全員が日々幸福に満ちた気持ちで過ごせる家を提供していきたい」と早川社長は想いを語る。



▲和風と洋風が調和したリビング

## 手間をかけた「最高級の木材」と「匠の技」とで作り出す「くつろぎの空間」

落ち着いた室内空間は「最高級の木材」と抜きん出た「匠の技」から生まれる。国産木材は奈良県吉野などの産地に社長が直接出向き、吟味したものを使用。仕入れた木材は自社倉庫で自然乾燥させる。「柱、梁など家の骨組みに使う材料は15年以上倉庫に寝かせます。長期間自然乾燥させることにより、木独自の香りを保ちながら、永く耐えられる木材になるのです」と早川社長。こだわりの家づくりへの執念が伝わってくる。

最高級の木材は熟練の棟梁・大工が「匠の技」を発揮し加工する。木工事は下請けを一切使わず、自社で一貫施工する。本物の技であることの証明は、同社が高度な建築技術を必要とされる寺院の建築も手がけていることから窺える。



▲四国愛媛で同社が施工した本格和風の家

## 顧客が大事にしてくれる価値ある家づくり

「家は一生使うもの。年数が経つほど価値が上がり、お客様が大事にしてくれる家を作っていきたい」というのが同社の社是。最近、同社施工の築後5年の家が、新築時の価格とほぼ同額で売買がまとまったという。同社が造る家は住む人が愛着を持ち大事に使うため、かえって価値が高まるということを物語る。樺、檜、杉などの銘木を贅沢に使った風格ある本物志向の家を、納得のいく価格で提供する。本物であることは、県内のみならず、東京、埼玉、四国愛媛での施工実績が証明している。



▲「お客様が大事にしてくれる家を作っていきたい」と早川社長。